

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 10 日 更新

事務事業名		ファミリー・サポート・センター事業				☒ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2	福祉の健康			所属部	こども部	課長名	衛藤 和博
	施 策	4	子育て支援の充実			所属課	こども未来課	担当者名	中島 仁
	施策の柱	17	地域における子育て支援			所属班	こども支援班	(内線)	1624
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10585	根拠法令	合志市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	働く人の仕事と育児の両立を図るため、育児の相互援助活動を行う会員(利用会員、協力会員)を組織し、コーディネートする。(合志市社協へ委託) 急な残業の際など、既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応するため、地域における育児に関する相互援助活動をファミリー・サポート・センター事業として、平成6年に国が規定。合志市では平成14年度から実施。ファミリー・サポート・センター事業については、平成28年度で1,724自治体中833箇所で開催中。合志市のファミリー・サポート・センターは県内でも登録会員数や活動件数からみても熊本市に次ぐ規模であり県からも評価を得ている。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応できているということで評価を得ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) ファミリーサポートセンター事業を委託により実施した。従来のファミリーサポートでは対応困難な緊急時の支援として、「緊急サポート」も実施した。(利用件数1,648人)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ファミリーサポートセンター事業を委託により実施する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア ファミサ利用会員登録数	人		
→ イ ファミサ協力会員登録数	人		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・小学校6年生までの児童を持つ保護者 ・講習会を受講し、子育ての応援をしたい人	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	人	→ ア 小学校第6学年までの児童数	
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・子育てと仕事の両立ができる。 ・地域で子育てを支援する。	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
	件	→ ア ファミサ利用件数	
	件	→ イ ファミサ相談件数	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。また、平成22年度以降については、前年度並みで設定した。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
①活動指標	人		1,223	1,230	1,500	1,260	1,550	1,550	1,550	1,550	
	人		464	482	450	500	450	450	450	450	
②対象指標	人		10,237	10,233	11,000	10,180	11,000	11,000	11,000	11,000	
③成果指標	件		1,734	1,945	2,000	1,648	2,000	2,000	2,000	2,000	
	件		892	1,007	500	863	500	500	500	500	
投資 入費 量 人件費	事業 内訳	国庫支出金	千円	6,053	6,053	5,753	5,586	6,420	5,753	5,753	5,753
		都道府県支出金	千円	5,586	5,753	6,420	5,120	6,420	5,753	5,753	5,753
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	6,521	5,454	7,087	8,554	6,420	5,754	5,754	5,754
	(A)事業費計	千円	18,160	17,260	19,260	19,260	19,260	17,260	17,260	17,260	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	4	2	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	125	125	55	175	55	55	55	55
		(B)人件費計	千円	488	475	219	637	219	219	219	219
	トータルコスト(A)+(B)			千円	18,648	17,735	19,479	19,897	19,479	17,479	17,479

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	所属部	こども部	所属課	こども未来課
-------	-------------------	-----	------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなっているが、利用控えが続いており利用者数が減少した。
	② 6 年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなっているが、利用控えが続いており、利用者数が戻るには時間がかかると考えられる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 利用会員と協力会員の登録者数を増やす必要がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事業が無い
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 国の基準に基づき事業を実施しており、削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最少の人員で実施しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 国の基準に基づき事業を実施しており、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 国の基準で実施している事業であるため、行政の役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

活動内容も、利用者に即したものであり、登録会員数は年々増えている。
仕事と育児の両立等のための環境整備が図られている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												